

2024年2月21日

山梨県知事
長崎 幸太郎 殿
山梨県地域ブランド・広聴広報統括官
小林 徹 殿

山梨県政記者クラブ

インタビュー対応に関する抗議および質問状

2月に実施された知事インタビューでの対応について、山梨県政記者クラブとして、抗議すると同時に、以下の点を質問し、見解を求めます。

まず、前半日程の社は政治資金問題を巡る質問ができた一方、後半には、「質問を削除してほしい」「削除しなければインタビューには応じられない」といった趣旨の要請や通告をされた社が複数ありました。実際に、削除要請に応じなかったことで、インタビューを実施できていない社もあります。

広聴広報グループの一連の対応は、山梨県の意に沿わない報道に圧力をかけ、取材活動を規制しようとするものであり、民主主義の根幹である憲法で保障された言論と表現の自由を脅かすことにつながると危惧します。こうした質問規制は全国的に見ても異例であり、記者クラブとして到底受け入れることはできません。

そこで、上記の対応が取られた理由と再発防止策を尋ねます。

併せて、当初予定していた取材日直前で、日程と形式（グループから個別）が変更されたことについても、経緯の説明と再発防止策の提示を求めます。2月28日（水）までに文書で回答をお願いします。

<質問・要請>

- 1、知事の政治資金収支報告書への不記載問題に対する質問規制は、誰のどのような判断から行われたのでしょうか。経緯や理由を教えてください
- 2、直前で日程と形式が変更された経緯は何でしょうか
- 3、インタビューを巡る一連の対応について、グループを管轄する長崎知事の見解を教えてください
- 4、1、2に対する再発防止策を具体的に示してください

以上